

個人情報漏えい（誤廃棄）に関するお詫びとご報告

この度、当院におきまして、下記の個人情報漏えい（誤廃棄）が発生しました。

関係する皆さまにおかれましては、多大なるご迷惑とご心配をおかけする事態になりましたことを心よりお詫び申し上げます。

今回の事態を重く受け止め、個人情報の管理につきましては、職員に対する教育及び指導を徹底し、再発防止に努めてまいります。

記

1 事案の概要

令和7年12月22日、機構本部を通して労働基準監督署から計測のため貸与された労災保険給付請求人の肺組織が入っていた容器について、計測後の空容器を労働基準監督署へ返却すべきところ、誤って医療用廃棄物として廃棄してしまいました。空容器には労災保険給付請求人の氏名を記載したラベルが添付されておりましたが、院内の他の医療用廃棄物と同様に厳重な管理のもと廃棄したことを確認しており、二次流出の可能性は低いと考えられます。

2 漏えいした個人情報の内容

労災保険給付請求人の氏名、受診病院名、標本番号 1件

3 発生原因

通常院内で行っている計測業務と同様に空容器及びラベルは返却せずに廃棄するものと計測担当者が誤認していました。

4 再発防止策

職員に対し、個人情報漏洩等の防止のための基本動作の徹底及び速やかな報告について改めて指導しました。併せて、個人情報の重要性と厳格な管理についても周知を徹底し、再発防止に努めてまいります。

令和8年2月27日 旭労災病院